

～長年のアミノ酸研究で培った技術力で医薬品開発に貢献～
 味の素ジェネクスン社 バイオ医薬用培地事業

味の素グループの培地事業は、創業以来培ってきた、アミノ酸のバイオプロセス技術や分析・評価技術等のアミノサイエンス®を基盤に発展してきました。

味の素ジェネクスン社(韓国)は、その中核拠点として、2014年設立のcGMP(current Good Manufacturing Practice)対応の培地工場、2019年設立のCELLiST™ソリューションセンター(CSC)を中心に事業を展開しています。広くグローバルのお客様とのエンタングルメントを強化しながら、顧客ニーズに合わせたスピーディで高度な培地開発、手厚い技術サポートを行っています。

難治性疾患への治療効果や副作用の少なさなどから、抗体医薬を中心としたバイオ医薬品への期待が高まっています。味の素グループはこの培地事業によってバイオ医薬品の開発・製造を支え、医薬品を必要とする一人でも多くの方々へお届けできるよう貢献してまいります。

こちらの動画では、味の素ジェネクスン社のバイオ医薬用培地CELLiST™の開発、製造現場の様子をご紹介します。ぜひご覧ください。

【↓画像をクリックするとリンク先動画に移ります】



味の素グループは「アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する」を“志”(パーパス)としています。この“志”(パーパス)のもと、事業を通じた社会価値と経済価値を共創する取組み、ASV(Ajinomoto Group Creating Shared Value)を実践しております。これからもASVを事業展開の中核とし、“志”(パーパス)の実現と企業価値向上を図ってまいります。

参考

2023年6月13日 事業説明会資料「バイオ医薬/再生医療用培地事業の成長戦略」

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/business_briefing/main/01119/teaserItems1/01/linkList/00/link/4_Culture%20Media_J.pdf

味の素ジェネクスン社 <https://jp.ajinomotogenexine.com/>

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2021年度の売上高は1兆1,493億円。世界36の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2022年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：investor_relations@asv.ajinomoto.com